

新たに導入する公共交通のあり方について

- ・ 町内北東エリアにおいて、午前中は定時定路線型、午後はデマンド型の車両が運行する。
- ・ 定時定路線型は、田原本駅発着で、北東エリアを回る路線を午前中（8:00～12:00）に3本運行。
運賃は100円など安価な値段を想定、平日は毎日運行、土日祝や年末年始は運休とする。車両は軽ハイトワゴン型。
- ・ デマンド型は午後（12:00～17:00）1台運行。予約に応じ、北東エリア各所と町内主要施設で乗停車。
運賃は定時定路線型と比べ利便性が高い点、また、タクシーとの差別化を図ることからも定時定路線型とタクシー料金との間で300円などを想定。運行日は定時定路線型と同様。車両も定時定路線型と同じ車両を使用。
- ・ 定時定路線型及びデマンド型のいずれも、町内タクシー事業者に運行を担っていただけないか調整。
- ・ デマンド型については、町内タクシー事業4者の持つシステムやノウハウを最大限活用することとし、AIシステムの導入は行わない。運行管理を1者に、運行サービスを4者に輪番でお願い出来るか調整。

<午前を定時定路線、午後をデマンド型とする趣旨>

- ・タワラモトンタクシーやももたろう号の利用は、午前が午後より多い。
- ・一般的に、定時定路線型は「限定目的地への定期大量移動」、デマンド型は「不規則な少量移動」に適する。
- ・将来的な拡張も見据え、午前を定時定路線で当面は通院需要、将来的には通勤通学需要のカバーも目指し、需要の少ない午後においてはデマンド型として、通院や買い物のニーズにきめ細かに対応。

<土日祝及び年末年始を運休とする趣旨>

- ・周辺市町村では、土日祝を運休とするところもあれば運行するところも。年末年始は軒並み運休。
- ・タワラモトンタクシーの利用は、土曜日が平日より少ない。（土曜日は平日より3割減）
- ・新たな公共交通でカバーしたい主な需要である「高齢者の通院」に関して、多くの病院は土曜の午後、日曜、祝日及び年末年始は休診。
- ・以上を踏まえ、土日祝及び年末年始を運休とする。

<車両を定時定路線、デマンドとも同じ軽ハイトワゴン型にする趣旨>

- ・新たな公共交通への需要が不明であり、今後の拡張を見据えてもミニマムスタートとすべき。
- ・ももたろう号が通常タクシーとの棲み分けに苦慮した経緯を踏まえ、タクシー車両（セダン型）とは明確に異なる車種とすべき。また、当町の狭隘な道路事情を踏まえ、小回りの利く車両とすべき。
- ・定時定路線、デマンド型とも町内タクシー4者への運行委託を想定しており、午前午後という時間的連続性も踏まえ、同一車両での運行が実務上望ましい。定時定路線において、乗車定員（運転手を除き3名）を超えると乗せられないデメリットが残るが、まずはミニマムスタートとし、需要動向に応じて車両サイズの変更を検討。

<AIシステムを導入しないこととする趣旨>

- ・町内タクシー事業者4者は、いずれも車両の動体管理システムを有している。
- ・コンパクトな当町においては、新たな公共交通の導入にあたり、各社の動体管理システムを新たな車両と連携させるとともに、ドライバーの知見によって乗合経路を割り出すことで、AIシステムを導入せずとも対応可能な見込み。